

発言通告表（施政方針に対する質問）

平成29年2月定例会

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
1	望月 昇（24）	<p>1. 「施策の概要」について</p> <p>(1) 『安全で暮らしやすいまち』をつくるための施策 「被災者支援体制の充実を図るため、被害認定調査・り災証明書発行システムを整備いたします」とありますが具体的な内容と導入時期はいつか市長の考えについてお聞きします。</p> <p>(2) 『健やかに安心して暮らせるまち』をつくるための施策</p> <p>① 「高校生を対象に、妊娠・出産・子育てといったライフイベントを含めた人生設計を考える機会を提供する『高校生ライフデザインセミナー』を実施いたします」とのことですが具体的な実施方法と目的はどのようなことかお聞きします。</p> <p>② 「妊娠期から子育て期にわたる様々なニーズに対して、総合的な相談・支援を行うワンストップ拠点『子育て世代包括支援センター』の設置に向けた準備を進めてまいります」について、具体的な内容と目的についてどのように考えているかお聞きします。</p> <p>③ 「県内初となる公立幼稚園の教室を活用した『小規模保育事業所』の開設や、保育ママ事業の拡充などを行うとともに、企業主導型保育施設の整備を積極的に促進するため、設置費用等に対する助成制度を創設いたします」について市長の考えをお聞きします。</p> <p>④ 「児童虐待防止につきましては、専門的な医療機関と連携し、医学的な見地から治療の必要性の判断や専門的・技術的な助言を得ることのできる取組を県内で初めて実施し、個々のケースに応じた未然防止対策に繋げてまいります」、「生活困窮世帯等に対する学習支援につきましては、現行の高校進学のための支援に加え、新たに高校1年生を対象に中途退学防止のための支援を実施いたします」及び「新たに発達障害を持つ児童・生徒を対象に、学習支援や教育相談を行ってまいります」とありますが、発達障害児の支援に対する市長の考えについてお聞きします。</p> <p>⑤ 「認知症の初期対応や支援を包括的・集中的に行うため、医師を含め複数の専門職で構成する『認知症初期集中支援チーム』を新たに設置してまいります」とありますがどのような効果があると考えているかお聞きします。</p> <p>(3) 『産業が交流するにぎわいのまち』をつくるための施策 「無人航空機『ドローン』を導入し、山林の実態調査を効率的に実施するほか、多分野での活用を検討してまいります」とありますがドローンの活用について市長のお考え</p>	市長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
1	望月 昇（24）	<p>をお聞かせください。</p> <p>(4) 『人と自然が共生し環境負荷の少ないまち』をつくるための施策 「上水道事業につきましては、料金改定により、市民や事業所の皆様にご負担をお願いすることとなりましたが、安全な水を安定的に供給するため、老朽管の更新及び主要管路の耐震化をより一層進めるとともに、安定的な水道事業の継続を目的とした『(仮称) 富士市水道事業経営戦略プラン』の策定に着手いたします」とありますが、市長の考えについてお聞きします。</p> <p>(5) 『人にやさしい便利で快適なまち』をつくるための施策 「橋梁の長寿命化や道路の舗装補修など、老朽化が進む道路施設の維持管理をより一層進めてまいります」とのことですが、市長の考えをお聞きします。</p> <p>(6) 『市民と創る新たなまち』を築くための施策 「まちづくり協議会の活動に対する新たな財政支援として『まちづくり協議会活性化補助金』を創設するとともに、人的支援として『まちづくり協力員』を平成30年3月から各地区まちづくりセンターに配置してまいります」とありますが市長の考えをお聞きします。</p> <p>(7) 本市のシティプロモーションについて 「富士市ブランドメッセージ大作戦を展開し」、「『青春市民』を増やし、『富士市』を全国・世界に広めてまいります。」として、「ブランドメッセージ大作戦のメイン事業」に「青春市民プロジェクト」を位置づけ、「青春市民ライフスタイル誌」の発行や「青春市民ミーティング」を開催するなどとしていますが市長の考えについてお聞きします。</p>	市長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
2	海野 庄三（15）	<p>1. 新年度の市政運営について</p> <p>2月15日に行われた新年度（平成29年度）に向けての市長施政方針演説を拝聴。小長井義正市長においては1期目最終年度の施政方針であり、「はじめに」の項で市長は、『生涯青春都市 富士市』の実現に向けて、より多くの果実を収穫できるよう、任期4年の成果を示してまいります。」と述べている。</p> <p>会派「凜（りん）の会」としては、その成果に期待しつつ、ここに施政方針に対する質問を提示、回答を願いたい。</p> <p>質問提示に当たっては、会派の持ち時間が答弁を含めて1時間のため、「新年度の市政運営に向けて」と「施策の概要」、それぞれの項目からピックアップした。</p> <p>(1) 「新年度の市政運営に向けて」</p> <p>「新年度の市政運営に向けて」では、第五次富士市総合計画後期基本計画の都市活力再生戦略に位置づけた3つのプロジェクトを示し、そのうちの1つ、「次代を担うひとづくりプロジェクト」では、議員発議によって推進を目的とした全国初の条例が制定されたユニバーサル就労に対し、議会と連携しての推進に意欲を示し、予算づけも図って多角的複眼思考をもったの事業を打ち出している。その取り組みは高く評価するも、事業展開の核となるのは福祉部に新設される生活支援課である。ユニバーサル就労の推進には、福祉制度を超えての取り組みが必要とされるだけに、その連携を、どう構築、事業を展開していくのか。</p> <p>(2) 「施策の概要」</p> <p>① 「第五次富士市総合計画」に位置づけた7つの柱のうち『安全で暮らしやすいまち』をつくるための施策で打ち出されている富士市消費者教育推進地域協議会とは、どのような目的で設置、また、その構成は、どのように考えているのか。消費者教育の推進が行政責務となった状況下、消費者相談を含め消費者行政の人員体制は充足しているか。</p> <p>② 同じく『安全で暮らしやすいまち』をつくるための施策に記されている田子の浦港周辺の津波対策に「全体の事業計画を精査した上で、取組の内容や手順を示すロードマップを作成」とあるが、河川遡上や、対策費、物件移設補償費などを含めた全体の事業計画は、既に策定済みと受けとめてよいのか。また、策定済みならば、その公表は、いつを予定しているのか。</p> <p>③ 『健やかに安心して暮らせるまち』をつくるための施策に「就学前人口の減少や保護者の就労環境の変化等に対応し、施設配置や規模の適正化を図るため『（仮称）公立教育・保育施設再配置計画』を策定」とあるが、この取り組みは、平成28年9月に公表された富士市公共施設再編計画に基づくものなのか。基づくものとするならば、計画で示されている「今後40年間で幼稚園の約57%、保</p>	市長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
2	海野 庄三（15）	<p>育園は約10%の延床面積の削減を目指す」を取り込んでいくのか。</p> <p>④ 『産業が交流するにぎわいのまち』をつくるための施策に「更なる企業誘致・留置を図るため、引き続き新たな工業用地の候補地選定に向けた取組を進める」とあるが、新たな工業用地確保のめどがあるのか。めどがあるとするならば、どの程度の規模なのか。「誘致・留置」とあるが、新たな工業用地の確保は既存事業所の留置＝移転も絡めていくのか。留置＝移転も絡めるとするならば留置には移転ではなく支援策の強化と多様性を優先すべきではないか。</p> <p>⑤ 『魅力ある教育を実現するまち』をつくるための施策で示されている「義務教育9年間における教育活動の更なる充実や教育課題の解消に向けて、総合教育会議等を通じて教育委員会と連携を深め、小中連携教育のより一層の推進と小中一貫教育の将来的な導入を目指してまいります。」とあるが、総合教育会議の長の市長として小中一貫教育を、どう捉えているのか、導入時期については、どう考えているのか。</p> <p>⑥ 『魅力ある教育を実現するまち』をつくるための施策では、富士総合運動公園内にある公園体育館と温水プールを取り上げ、「今後のあり方を早急に検討」としているが、公園体育館は昨年秋から使用中止としており、既に半年余を経過、「早急に検討」ではなく、「早急に結論を下す」とすべきではないか。また、「本市を取り巻く状況や世論調査の結果を踏まえながら、総合体育館の建設に向け基本構想の策定に着手」とあるが、単年度で策定するのか。単年度で策定とするならば策定時に今後の建設スケジュールも明確にすべきではないか。</p> <p>⑦ 『人にやさしい便利で快適なまち』をつくるための施策には、新富士駅北口駅前広場の利便性向上に向けての改良工事の取り組みが記されているが、2月23日の“富士山の日”に合わせて「北口」を「富士山口」と改名していくことが決まっている。「富士山口」となるならば改良工事で富士山眺望への試みも取り込んでいくべきと考えるが、いかがか。</p> <p>⑧ 『市民と創る新たなまち』を築くための施策で打ち出されている、まちづくり協議会の活動に対する新たな財政支援の「まちづくり協議会活性化補助金」には地区人口規模などを勘案していくのか。人的支援とする「まちづくり協力員」の位置づけと、その人材確保の考えをお聞かせ願いたい。</p>	市長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
3	松本 貞彦（32）	<p>1. 「はじめに」及び「施策の大要」について</p> <p>市長は施政方針の「はじめに」の「人に安心を」では、「スピード感をもって『田子の浦港振興ビジョン』を策定いたしました。」とし、「施策の大要」では「田子の浦港周辺の津波対策につきましては、全体の事業計画を精査した上で、取組内容や手順を示すロードマップを作成してまいります。」と述べられております。</p> <p>振り返ってみますとこのビジョンは既に平成27年度には、平成28年度から平成40年度までの事業地区を4つに分けた年度別の事業内容の内訳が、田子の浦港周辺津波対策事業計画として示されておりまして、この事業計画および事業着手は田子の浦港周辺地区のみならず、市民の生活と産業経済活動全体における重大かつ喫緊の課題であります。しかし平成28年度には議会に幾つかの補正予算が提出され、事業計画が変更されてきました。そこで計画がどこまで進んでいるのか、その内容とロードマップがいつ明らかに示されるのかお伺いします。</p> <p>2. 「新年度の市政運営に向けて」及び「施策の大要」について</p> <p>「新年度の市政運営に向けて」の第1の「安全で快適なまちづくりプロジェクト」では「新富士駅や富士駅の周辺整備を進めるほか、公共交通機関の更なる充実を図るなど、利便性の高い快適な市民生活を持続させる基盤整備を進めてまいります。」としており、「施策の大要」の第6に『人にやさしい便利で快適なまち』をつくるための施策においては具体的に「新富士駅北口駅前広場において、利便性向上を図るための改良工事に着手します。」、また、「公共交通につきましては、本市の公共交通ネットワークの利便性向上に向け、まちなか循環バスの実証運行を開始するとともに、バスロケーションシステムの導入に向けた検討を進めてまいります。」と述べられています。そこで、</p> <p>(1) 新幹線新富士駅北口が富士山口になったが富士山のゲートウェイとしての効果をどのように捉え、北口駅前広場の利便性の向上だけでなく、おもてなしを含め富士山の表側の玄関口としてふさわしい魅力ある整備が求められると思うがどうでしょう。また南口整備も富士山口の整備に合わせた総合的な整備構想があつてしかるべきだと思いましたがどうでしょう。</p> <p>(2) 公共交通機関の充実を図る上では新富士駅、富士駅の接続は今までも最重要課題に挙げられてきましたが、岳南都市圏総合都市交通計画の中での一体的な整合性を図るのが喫緊の課題でもあります。そして今まで取り組んできたDMV導入やワンコインタクシーの実証実験、また身延線延伸要望等幾つかの課題が検討されてきましたが、現在の市長の思いをお伺いします。</p>	市長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
3	松本 貞彦（32）	<p>3. 「施策の大要」について</p> <p>(1) 第2に『健やかに安心して暮らせるまち』をつくるための施策では、少子化対策における婚活と子育て支援事業について述べられております。</p> <p>富士市社会福祉協議会が実施する「ハッピネスFuji」の事業充実及び商工団体等と協働で「(仮称) ふじ結婚支援ネットワーク会議」を開催するとあり、事業を多角的に行うことは喜ばしいことですが、これら事業の有機的な連携、例えばコラボレーション事業開催、会員交流や活動成功例等の情報共有（個人情報等除く）はなされるのか。また、子育て世代包括支援センターの設置準備も踏まえて、婚活事業から子育て支援事業への連携やワンストップ窓口等も踏まえた大きな視点に立った少子化対策が求められると思うが伺います。</p> <p>(2) 第3に『産業が交流するにぎわいのまち』では、富士山3776型広域DMOの設置の検討を行うなど広域連携による観光振興を図ると述べられております。</p> <p>① 富士山3776型広域DMOの設置検討が打ち出されましたが、ぜひとも表富士側をネットワークでつなぐ広域連携による観光振興が必要であります。どのような範囲で呼びかけていくのか、その構想をまず伺います。</p> <p>② 本年も富士山百景写真コンテストが計画されているようですが、市民に定着した行事に成長しました。近年、富士山を南北から眺めて、一番北は福島県花塚山からはるばる308キロメートルのかなたからの写真が、一番南からは和歌山県那智勝浦町から太平洋越しに実に323キロメートルの写真が紹介をされております。</p> <p>富士山頂上を自分の足できわめる。また、市庁舎の屋上からの富士山と駿河湾の眺望も見事であります。そこで私は市外からの積極的な応募受け入れなど、富士山百景コンテストの一工夫をまず求めたいと思いますが、どのように考えておられるか伺います。</p> <p>以上、申し上げてまいりましたが、御案内のとおり富士山と駿河湾は切っても切れません。そこで、平成14年まで運行されていた駿河湾フェリーが同年4月をもってその母港を田子の浦港から清水港に変更されましたが、そのときの寂しさを忘れることができません。何といたっても駿河湾海上から田子の浦港へ入港する雄大な富士山を市民に、全国民に世界の人々に見てもらいたいと思うのであります。</p> <p>そこで、</p> <p>③ 現在、清水港—土肥港間を直行しているフェリーを田子の浦港に寄港できるような運動はできないかと思うのであります。そして、富士山へのルートを歩いてもらいたいと思うのであります。田子の浦港のにぎわいづくりのために、この広域DMO設置の検討課題にふさわしい</p>	市長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
3	松本 貞彦（32）	<p>と思いますが、御所見をお伺いします。</p> <p>「林業振興につきましては、新たに首都圏の工務店等を招いて富士ヒノキ原産地視察を行うとともに、『富士ヒノキの家建築助成事業補助金』について募集棟数の上限を撤廃するなど、富士ヒノキのより一層の販路拡大に取り組んでまいります。</p> <p>また、市貸付林において、借地人と民間事業者の協力を得て、間伐等の整備を促進し、山林の保全と併せて富士ヒノキの供給強化に努めてまいります。</p> <p>さらに、無人航空機『ドローン』を導入し、山林の実態調査を効率的に実施するほか、多分野での活用を検討してまいります。」とあります。</p> <p>そこで、</p> <p>④ 富士ヒノキの販路拡大には、積極的な姿勢が見られる。予算の上でも示されているように、「富士ヒノキ販路拡大支援」の具体的な取り組みをお示しいただきたいと思っております。</p> <p>⑤ 「富士ヒノキの家建築助成事業補助金」について募集棟数の上限を撤廃ということで、これまで補正を含めて60棟が限度であったが、平成29年度は70棟分の予算であるが、申請件数が上回れば対応するとの解釈でよいのか。また、今回は量的緩和であるが、申請要件の緩和も視野において施策を進める考えはあるかお伺いします。</p> <p>⑥ 山林の保全と富士ヒノキの供給強化の具体化策をお伺いします。</p> <p>⑦ ドローンについては森林行政のみならず、各種公共施設の長寿命化対策及び災害時の現場調査とその対応など利用が拡大すると思うが、その全庁的な活用検討が求められますがお伺いします。</p> <p>(3) 第4に『人と自然が共生し環境負荷の少ないまち』をつくるための施策については、「地域エネルギーの有効活用につきましては、岳南鉄道線等の地域インフラを活用した地域電力事業において、可能性調査の成果を踏まえ、関係者と協議を進めるなど、実現に向けて取り組んでまいります。」とありますが、本調査の現況と今後の取り組みと事業の可能性や進捗状況、地域電力に対する貢献度と実現の見込みについてお伺いします。</p> <p>(4) 第5に『魅力ある教育を実現するまち』をつくるための施策についてお尋ねします。「小中連携教育のより一層の推進と小中一貫教育の将来的な導入を目指してまいります。さらに、グローバル化に対応した英語教育の推進と充実を図るため、英語検定3級以上を受験する中学3年生を対象に、検定料の軽減を図る制度を創設するとともに、海外研修として、姉妹都市であるオーシャンサイド市へ中学校英語教員を派遣します。」とありますが、</p>	市長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
3	松本 貞彦（32）	<p>① 小中学校の教育連携の現場での状況と小中学校一貫教育の検討はどのように進んでいるのか。本市でのその必要性をどう認識しているのかお伺いします。</p> <p>② 英語検定料金の軽減制度創設は十分理解するがそれ以前の英語教育が何より重要だと思います。多くの小中学生がこの検定にチャレンジできるような教育方針、指導方針などをお示してください。</p> <p>③ 中学校英語教員の派遣であります但其の詳細をお示してください。</p> <p>(5) 第6に『人にやさしい便利で快適なまち』をつくるための中で、「都市計画につきましては、集約・連携型の都市づくりの推進に向け、『富士市立地適正化計画』と『市街化調整区域の土地利用方針』の策定に着手してまいります。」とありますが、</p> <p>① 市民懇話会の内容と規模についてお伺いします。</p> <p>② 市民の多くが市街化調整区域の見直しに関心を持っていると思うがどのように受けとめているか。そして土地利用方針の概要についてお伺いします。</p> <p>③ 策定に着手する市長の集約・連携型都市づくりのお考えをお伺いします。</p>	市長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
4	小山 忠之（26）	<p>1. 「はじめに」について</p> <p>「任期仕上げの年に向けて」強い意欲を示しながら「基本姿勢とこれまでの主要な施策について所信を申し述べ」る中で、「生涯青春都市」を目指し、「まちに元気を、人に安心を」を信条として取り組んできたとしているが、「1期4年で答えを出す」、「ノーと言わない行政」などの公約も踏まえ、以下について伺う。</p> <p>公約を含めこれまでの取り組みの自己評価・採点はどうか。課題についてはどう認識しているか。</p> <p>2. 「新年度の市政運営に向けて」について</p> <p>第3「活力みなぎるしごとづくりプロジェクト」について</p> <p>「経済の好循環を生み出すため、本市の企業が持つ技術力の更なる発信」をしていくことや、企業誘致、留置等への取り組みが述べられているが、</p> <p>(1) 富士市の企業において育まれた技術力の特徴や特異性、希少性、対外的優位性についてどのように把握・分析し評価しているか。</p> <p>(2) 地元中小企業振興と連動・連携し得る「新たな企業の誘致」についてどう取り組んできたか。また新年度以降どう取り組んでいくか。</p> <p>3. 「施策の大要」について</p> <p>(1) 第2『健やかに安心して暮らせるまち』をつくるための施策について</p> <p>「妊娠期から子育て期にわたる様々なニーズに対して、総合的な相談・支援を行うワンストップ拠点『子育て世代包括支援センター』の設置に向けた準備を進めてまいります」としている。ここでまず、</p> <p>① 「子育て世代包括支援センター」について想定している機能及び準備の具体的内容及び設置場所・時期について、伺う。</p> <p>一方、高齢者福祉について『地域包括ケアシステム』の更なる推進」とある。要援護高齢者等の在宅生活を目指す地域包括ケアシステムにおいて、地域包括支援センターはその中核に位置づけられるとされるが、同センターについては今後、高齢者のみならず障害児（者）から子どもまで包括する抜本的な機能強化が期待されている。</p> <p>そこで、</p> <p>② 地域包括支援センターの機能強化と、同センターと子育て世代包括支援センターとの連携体制の構築についてあわせて検討してはいかがか伺う。</p> <p>(2) 第3『産業が交流するにぎわいのまち』をつくるための施策について</p> <p>工業振興施策に触れながら、「引き続き新たな工業用地の候補地選定に向けた取組を進める」などとしている。</p> <p>そこで、2点を伺う。</p>	市長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
4	小山 忠之（26）	<p>① これまで工業振興施策において掲げた数値目標の到達状況はどうか。その可否についてどう分析し、新年度施策にどのように反映しているか。</p> <p>② 新たな工業用地候補地選定の進捗状況はどうか。また同用地について地域中小企業対策を含めていかなる産業集積を想定しているか。</p> <p>(3) 第4『人と自然が共生し環境負荷の少ないまち』をつくるための施策について 「(仮称)富士市水道事業経営戦略プラン」の策定に着手すること、水道施設等の管理の包括的民間委託を試行導入すること、「富士市生活排水処理長期計画」の見直し、また「(仮称)富士市公共下水道事業経営戦略プラン」の策定、さらに浄化槽整備区域において新たな整備手法を検討し「『浄化槽整備計画』を策定する」など重要な計画の見直しや策定がてんこ盛りとなっているが、3点についてのみ伺う。</p> <p>① 「(仮称)富士市水道事業経営戦略プラン」策定の意義と狙い、到達目標及び住民への影響(メリット)について</p> <p>② 包括的民間委託のメリット及びデメリットについて</p> <p>③ 「浄化槽整備計画」策定の意義と狙い、住民への影響(メリット)について</p> <p>(4) 平成29年度の執行体制について 「様々な行政課題に的確に対応するとともに、効果的な事業の執行や市民満足度の向上を図るため、組織の改正を行ってまいります。」とあるが、組織横断型の仕組みにはどう取り組んできたか。新年度についてはどうか。</p> <p>(5) 平成29年度予算編成について 会計予算総額1685億円余は、地域経済の活力増進に資する貴重な地域内再投資と捉え、市民経済への最大限の波及効果を企図した活用(執行)が求められる。</p> <p>特に、一般会計予算における物件費、投資的経費を初め各会計における外注に係る予算の執行については、税の地域・市民還元を強く意識した対策が期待されるところである。</p> <p>地域経済活性化に資する地域還元対策について所見を伺う。</p>	市長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
5	石橋 広明（30）	<p>1. 新年度の市政運営に向けて</p> <p>第3に「活力みなぎるしごとづくりプロジェクト」について</p> <p>「地域経済の先行きに不透明感が漂う中、経済の好循環を生み出すため、本市の企業が持つ技術力の更なる発信に加え、新たな産業の創出・育成に向けた支援、市外からの企業誘致や既存企業の留置等、本市経済の持続的な発展に向けた取組を進めてまいります。」「郷土愛やまちの誇りであるシビックプライドを醸成し、いつまでも住み続けたいという市民を増やすとともに、本市の知名度や好感度を向上させ、観光客や転入者の増加を促進することを目的として、このブランドメッセージを積極的に活用した『富士市ブランドメッセージ大作戦』を展開してまいります。</p> <p>さらに『青春大賞事業』につきましては、ブランドメッセージと掛け合わせ、『青春市民プロジェクト』として拡充してまいります。」としているが、シビックプライドの醸成とは、具体的にどのような内容で事業展開をしていくのかお示ししていただきたい。また、ブランドメッセージ大作戦を展開するためのチーム編成や構成員について、考えを伺う。</p> <p>2. 施策の概要</p> <p>(1) 第1に『安全で暮らしやすいまち』をつくるための施策について</p> <p>「『静岡県薬物乱用防止県民大会』が10年ぶりに本市で開催されることから、多くの市民の皆様に参加を呼びかけ、薬物乱用根絶に機運を盛り上げてまいります。」としているが、具体的な事業内容及び開催予定日、会場、呼びかけ対象者の考えを伺う。</p> <p>(2) 第2に『健やかに安心して暮らせるまち』をつくるための施策について</p> <p>「待機児童対策につきましては、目標を2年前倒しし、平成30年4月時点での待機児童の解消を目指し、新年度を待機児童解消の強化期間として位置付け、県内初となる公立幼稚園の教室を活用した『小規模保育事業所』の開設や、保育ママ事業の拡充などを行うとともに、企業主導型保育施設の整備を積極的に促進するため、設置費用等に対する助成制度を創設いたします。</p> <p>また、こども未来課に新たに専任職員を配置するとともに、庁内に『(仮称)待機児童解消緊急プロジェクトチーム』を設置いたします。」としているが、</p> <p>① 「小規模保育事業所」の開設場所と保育士の確保を伺う。</p> <p>② 企業主導型保育施設の整備を積極的に促進するための設置費用等に対する助成制度の上限と対象企業の周知をどのように図るのか。</p> <p>③ 「(仮称)待機児童解消緊急プロジェクトチーム」の具</p>	市長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
5	石橋 広明（30）	<p>体的内容とチーム編成の対象者と専任職員の対象者と役割を伺う。</p> <p>(3) 第3に『産業が交流するにぎわいのまち』をつくるための施策について</p> <p>① 工業振興につきましては、CNF関連産業の一大集積地を目指し、用途開発の促進に向けて「産業連携CNFチャレンジ補助金」の対象を拡大するとともに、新たにCNFのサンプルや使用製品の常設展示を行うなど、情報の発信を強化するほか、市内企業とCNF製造企業等とのマッチングの場を積極的に提供してまいります。」としているが、</p> <p>ア 常設展示の具体的内容を伺う。</p> <p>イ 市内企業とCNF製造企業等のマッチングの場とは、具体的な考え方をお示しいただきたい。</p> <p>ウ CNF関連産業の一大集積地を目指すとしているが、集積地の確保の考えを伺います。</p> <p>② 「田子の浦港のにぎわいづくりにつきましては、引き続き客船などの誘致に取り組むとともに、『水陸両用バス』のデモンストレーション走行を実施いたします。」としているが、</p> <p>ア 「水陸両用バス」のデモンストレーションに対して、関係者との調整は図られているのか。</p> <p>イ 「水陸両用バス」デモンストレーションの目的と将来展望を伺う。</p> <p>(4) 第4に『人と自然が共生し環境負荷の少ないまち』をつくるための施策について</p> <p>「生活排水処理対策につきましては、公共下水道及び浄化槽の手法で整備を進めておりますが、持続可能な污水处理システムの構築に向けて『富士市生活排水処理長期計画』を見直してまいります。」としているが、「富士市公共下水道全体計画」に基づき見直すと思われませんが、全体ではどのような計画のもと、進めていくのか、具体的な内容を伺う。また、公共下水道整備済み区域の未接続世帯への接続を促す取り組みについて、具体的な内容を伺う。</p> <p>(5) 第5に『魅力ある教育を実現するまち』をつくるための施策について</p> <p>① 「文化振興につきましては、昨年11月にオープンした『ふじ・紙のアートミュージアム』を拠点に、企画展やワークショップを開催するなど、市内外に『紙アート』の魅力を発信してまいります。」としているが、企画展やワークショップの具体的内容と目的について伺う。</p> <p>② 「スポーツ施設の整備のうち、現在、使用中止としている富士総合運動公園体育館につきましては、既存の体育館や学校体育館等を有効に活用し、利用団体をはじめ市民の皆様にご不便をおかけすることのないよう努めて</p>	市長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
5	石橋 広明（30）	<p>まいります。</p> <p>また、富士総合運動公園体育館と温水プールの今後のあり方を早急に検討するとともに、本市を取り巻く状況や世論調査の結果を踏まえながら、総合体育館の建設に向け基本構想の策定に着手してまいります。」としているが、</p> <p>ア 現状、体育館は事前の予約であり、学校体育館は利用者委員会への申請や登録者による予約となっており、利用団体に不便をかけない施策を伺う。</p> <p>イ 富士総合運動公園体育館と温水プールの今後のあり方の具体的考えを伺う。</p> <p>ウ 総合体育館の建設に向けた基本構想の策定に着手とあるが、以前からの市民の願いでもあり、早期実現に向けての取り組みとして、基本構想の策定着手から実施設計や建設着手はいつごろを予定しているのか。また、建設予定地としての考えを伺う。</p> <p>(6) 第6に『人にやさしい便利で快適なまち』をつくるための施策について</p> <p>「空き家対策につきましては、『富士市空家等対策協議会』を設置し、所有者への意向調査の結果などを踏まえ、『富士市空家等対策計画』を策定いたします。」としているが、対策協議会の組織メンバーの選定と意向調査の具体的内容及び対策計画の具体的内容を伺う。</p> <p>(7) 第7に『市民と創る新たなまち』を築くための施策について</p> <p>「市民サービスの向上につきましては、マイナンバーカードの更なる普及を図り、コンビニエンスストアでの証明書交付サービスの利用を促進してまいります。」としているが、具体的内容と今後の方向づけを伺う。</p>	市長